INFORMATION & OTHERS

レースの楽しみ方は人それぞれ 自分だけのヒーローを探そう!

横一列のスタートから全開のエンジン音とともに１コーナーになだれ込むライダーたち。そして大空に舞い上がるジャンプ。コースサイドのお客さんは、間違いなくモトクロスならではのド迫力に圧倒されると思います。様々なモータースポーツ競技の中で横一線のスタートはモトクロスだけだと言われています。

１コーナーを真っ先に立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。

スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに１周目の混戦バトルは熾烈です。でも、トップを走っているのがどのライダーで、お目当ての選手はどこにいるのか、実況放送が伝えているのはどのバトルのことなのか、それがわかるようになるまでは結構大変。だから最初は、ゼッケン１を付けたチャンピオンはどこを走っているか探すことから始めてみてください。

そのゼッケンですが、白地がIA1、黒字がIA2、青がIB... なんですが、レディースも白地だし、よく見たらIA1にもIA2にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ 10 のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラー。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

IB OPEN には赤ゼッケンがいないし IA クラスには 01～010 を付けるライダーがいますよね。彼らは今年 IB OPEN から IA クラスに昇格したばかりのルーキーたち。先輩たちの速さやパワーに押されてみんなドキドキしているはずです。ルーキーじゃなくてもスタートの前なんか、ホントに口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張するんです。そんな時は観客の応援が何より力になります。選手紹介やサイティングラップの時に、落ち着いて頑張れるよう声をかけてあげてください。

中には今回初めてレース観戦するという方もいらっしゃいますよね。選手紹介で手を振ってくれたとか、スタート前に声を出して気合いを入れていたぞとか派手なウエアーが目立つとか、少しでも気になるライダーが見つかったらプログラムをチェ～ック。誰か一人のライダーに的を絞って観戦するとレースの展開が良く分かると思います。スタートして一桁ゼッケンのライダーが後ろの方にいたら何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

idemitsu

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2025 のJX85クラスに、タイ北東部ムクダーハン出身の14歳アランチャイ・プラヨングラット選手がレーシングチーム鷹のサポートを受けて参戦します。このチャレンジに当たっては、チャイワット・プラヨングラット氏、FMSCT 会長のトンチャイ・ウォンサワン氏、出光アポロ・タイランド社長の公荘雄一氏と執行役員のタナサック・ワハウィサル博士、そしてタイMX関係者の誰もが、2024FIMアジア選手権JX85チャンピオンのアランチャイ選手を支援出来たことを誇りに思います。彼の全日本選手権参戦は4年目を迎え、MFJとFMSCTの友好関係を築いて来ました。長年に渡っての両国の素晴らしい協力関係に心より感謝申し上げます。

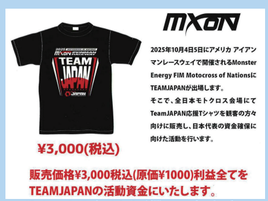
レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の１番下に QR コードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

声援がレースを盛り上げる 声を出して応援しよう

せっかくの機会、チームパドックやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。興味のある方は、モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースやレーシングサービスブースを訪ねてぜひご覧になってください。

メーカーのパドックはもちろん、タイヤメーカやサスペンションのサービスなども自由に見学できます。スタッフさんに声をかけて商品の説明を聞いちゃうなんていうのも全然アリです。ビッグチームだとポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、IA ライダーの多くがミニゼッケンステッカーを持っているので、一緒に来た子供さんは特に、何人分ゲットできるか「ゼッケンステッカーくださ～い!!」とパドックにライダーを尋ねて回ったら楽しそう。更に今大会では、電動キッズバイクの体験走行が企画されています。申し込みは先着順とのこと。お子さんにライダー体験をさせる絶好のチャンス。この機会にぜひ!!

レース中はコースを移動しながら最適な観戦ポイントを探すも良し。別料金がかかる場合もありますが、メーカーや地元チームが用意したコースサイド観覧席に陣取るのもあり。会場内にいるのは誰もがモトクロス大好きな仲間たち。分からない事があったら気軽に声を掛け合って、大会を丸ごと楽しんでくださいね。



そしてこれはお願い。今大会の会場内で、10 月 3～5 日にアメリカで開催されるモトクロス・オブ・ネイションズ（MXoN）の応援 T シャツが販売されています。MXoN とはモトクロス界のワールドカップ。売り上げは全て日本代表チームの派遣費用になります。良かったらぜひこのクールな T シャツを来て、日本代表チームを応援してください。

シーズンオフも LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING 」は今年も LINE 公式アカウントを使って配信しています。料金は基本タダ（笑）。次戦以降の現地レポートはもちろん MXoN を含めた世界と日本のモトクロスの現状なんかもお届けしちゃいます。みなさんぜひ、右上の QR コードからお気軽にご登録ください。

編集後記

毎回様々な趣向でファンを楽しませ、日本のモトクロスを活性化させようと全力で取り組んでくれているここオフロードヴィレッジ。ちなみに土曜日のジュニアクラスには、前回 SUGO 大会に続いてタイのキッズが来日しチャレンジしています。スポーツの国際交流大事ですよね。秋はどんな大会になるのか、皆さんぜひ観戦に来てくださいね !!

MXING & MC Square 木田 淑

RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

D.I.D DIRT STAR

全日本モトクロス新聞
MXING MOTOCROSSING
制作・発行／MC Square 木田 淑
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409
Tel. & Fax. 03-3522-2278
E-mail: kida@mxing.com
HP:https://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP.https://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-Off Road Village

得意のスタートダッシュを決めてチャンピオンに真っ向勝負を挑む#2横山遥希と鋭い追い上げで4連勝を飾った#1ジェイ・ウィルソン 今季初のトリプルヒートで流れは変わるのか!! *Photo/H.Kawai*

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2025 第3戦 21Group カップ オフロードヴィレッジ大会は、5月17～18日に埼玉県川越市のオフロードヴィレッジで開催される。九州熊本、東北宮城に続いてシーズン序盤を締めくくる重要な戦い。IA1クラスはジェイ・ウィルソン、IA2は中島漱也、LMXクラスは川井麻央とチャンピオンがシーズンの好スタートを決める中、巻き返しを図るライバルたち。表彰台の頂点に立つのは果たして誰か、手に汗握る激戦に注目して欲しい。

白熱のバトルで盛り上がろう!
1.トップライダー&地元選手をチェック!
2.お気に入りのライダーを一人見つける!!
3.モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4.頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

開幕４連勝で自身４連覇へ 圧倒的な強さで突き進むジェイ

'21 年の IA2 クラスを皮切りに '22～'23 年は IA1 クラスと 3 シーズン連続で全日本の頂点に輝いたジェイ・ウィルソン（#1 ／ヤマハ）。その強さは今年も健在で、開幕から無傷の 4 連勝をマークするなど日本人選手を圧倒。4 連覇を目指すジェイの連勝がどこまで続くのか、果たして誰がジェイの快進撃にまったをかけるか、それが国内最高峰 IA1 クラス最大の見どころとなっている。

そんな中、打倒ジェイの急先鋒となっているのが地元埼玉の**横山遥希**（#2 ／ホンダ）だ。小柄な体格を武器にスタートから積極的なレースを繰り広げる横山は、これまで幾度となくジェイの前を走り激しいバトルを繰り広げて来た。その横山に続きポイントランキング 3 番手に付けるのが横山のチームメイトでもある**大倉由揮**（#4 ／ホンダ）だ。ヤマハのジェイに対してホンダのトップチームに籍を置く横山と大倉。個人競技でありながらメーカー同士の戦でもある全日本モトクロス。勝利への執念と意地のぶつかり合いに先ずは注目したい。

もちろん打倒ジェイを目標に掲げるライダーは他にもいる。昨シーズンは怪我でランキングを落としたものの**大城魁之輔**（#8 ／ヤマハ）と**内田篤基**（#10 ／カワサキ）もトップ争いを繰り広げる力を持ったライダー。更に**能塚智寛**（#5 ／カワサキ）もかつてヨーロッパで修行し、世界のスピードを身に付けたライダーだ。**大塚豪太**（#6 ／ホンダ）や**安原 志**（#7 ／ホンダ）、地元のベテラン**小方 誠**（#9 ／ホンダ）に加え IA2 クラスからステップアップしていきなり 6 位入賞という大物ぶりをアピールした**西條悠人**（#37 ／カワサキ）や**浅井亮太**（#38 ／ヤマハ）らにもぜひ注目して欲しい。

新チャンピオン中島に挑む 田中、鴨田、吉田、そして横澤

伸び盛りの日本人ライダーが激突する IA2 クラスは、昨シーズン**中島漱也**（#1 ／ヤマハ）と**横澤拓夢**（#2 ／ホンダ）が大接戦を演じ、最後は中島が横澤を突き放して初のタイトルを獲得した。開幕戦ではその中島がゼッケン 1 に相応しい走りでスポット参戦したヨーロッパの強豪**ブライアン・シュー**（#53 ／ガスガス）と激しいバトルを繰り広げ総合 2 位。前回 SUGO ではライバルを圧倒してパーフェクト優勝を飾り更なる成長をアピールした。

経験豊富な横澤に対し、若さが武器の**田中淳也**（#4 ／ヤマハ）や**柳瀬大河**（#5 ／ホンダ）、前回 SUGO で初表彰台に上がったクラス最年少の**吉田琉雲**（#14 ／ホンダ）らがどう絡むか。**鴨田 翔**（#6 ／カワサキ）や**佐野雄太**（#11 ／カワサキ）、**福村 鎌**（#12 ／スズキ）や**池田 凌**（#13 ／カワサキ）らがどんな戦いを挑むのか。若手と中堅ライダーの激しい攻防に注目したい。

女王川井を脅かす新たな ライバルの出現はあるか?

昨シーズン、開幕戦でのポイント剥奪という窮地から懸命に挽回し、大逆転で自身 4 度目の LMX クラスチャンピオンに輝いた**川井麻央**（#1 ／ホンダ）。一方宿敵の**本田七海**はこのクラスを離れ IB OPEN へのスイッチを表明。またランキングも 3 番手へと急成長を見せた**川上真花**（#3 ／ヤマハ）は怪我のためシーズン序盤を欠場。更にランキング 5 番手の**瀬尾 柚姫**からは学業に専念するためレース活動の休止が伝えられ、ここに来て川井はライバル不在の状態に。

迎えた開幕戦、そして前回 SUGO と川井は先行する**箕浦未夢**（#6 ／ホンダ）に追い付くとあっさりと逆転して 2 連勝をマーク。全戦全勝を目標に掲げた川井が独走するのか新たなライバルが台頭するのか、開幕から連続で表彰台に上がった**穂苅愛香**（#8 ／ヤマハ）、**楠本菜月**（#5 ／ホンダ）や**赤松樹愛**（#7 ／ホンダ）、**ペレーラ瞳**（#11 ／ガスガス）ら若手の活躍にも期待が寄せられる。

次世代を担う IB OPEN や JX、CX から土曜日のエンジョイクラスまで、プログラムでゼッケンと名前を確認しながら地元ライダーには特に熱い声援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2025スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月 13日	熊本県／HSR九州
第2戦	SUGO大会	4月 26～27日	宮城県／スポーツランドSUGO
第3戦	関東大会	5月 17～18日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第4戦	中国大会	6月 14～15日	広島県／世羅グリーンパーク弘楽園
第5戦	近畿大会	9月 20～21日	奈良県／名阪スポーツランド
第6戦	関東大会	10月 18～19日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第7戦	MFJ-GP	11月 1～2日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第3戦 関東大会 開催おめでとうございます。
SUZUKI
YAMAHA Revs Your Heart

左のQRコードは、ライブタイミングリザルトとライブ動画配信へのリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タ今大会のイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、主要チームの公式レポートや参加ライダーのSNSなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。